

## 人を対象とする医学系研究に関する公開情報

**研究機関名：筑波メディカルセンター病院**

|  |
|--|
| 倫理審査承認日：2019年12月17日  |
| 研究課題名：<br>異型大腿ヘルニア（Laugier's hernia）の臨床的検討<br>研究期間：倫理審査承認後～西暦 2025年3月  |
| 研究対象：2010年1月から2019年12月までに、当院で異型大腿ヘルニア（Laugier's hernia）と診断され、手術を受けた患者様。  |
| 対象材料：<br>■血液材料 ■その他（カルテ記載の診療情報、術前CT検査の画像、手術中の写真）<br>上記材料の対象期間 西暦 2010年1月～2019年12月  |
| 意義・目的：<br>大腿ヘルニアとは、腹部臓器が大腿輪を通り大腿管に突出し、大腿部に膨隆を起こすヘルニアです。特徴としては、ヘルニア門（大腿輪）が狭いために嵌頓を起こしやすく、唯一の治療法は手術です。その中で、我々は異型大腿ヘルニア（Laugier's hernia）の存在に注目しました。<br>今までの報告では、異型大腿ヘルニア（Laugier's hernia）はヘルニア手術全体の0.13%の頻度と報告され、非常に希少な疾患であるために系統的報告は認めません。そのため術前診断は非常に困難であり、その多くは大腿ヘルニアの術前診断にて手術が行われており、手術中の状況で異型大腿ヘルニア（Laugier's hernia）と診断されています。<br>近年の画像診断の進歩によって、詳細な術前の解剖把握が可能となり、我々は異型大腿ヘルニア（Laugier's hernia）において特徴的な画像所見が存在する事に注目し、正確な術前診断が可能となりました。<br>本研究で、当院で経験した異型大腿ヘルニア（Laugier's hernia）の特徴的な画像所見、臨床的特徴を系統的に報告する事は、非常に有用な研究であると言えます。 |
| 方法：<br>カルテ記載の患者様の背景（年齢、性別、身長、体重、身体所見（ヘルニアの大きさ））および手術内容（手術時間、出血量、術後合併症、在院日数）、術前CT検査画像データ、術中写真<br>個人情報連結匿名化し、対応表は医局宮本の机にて施錠して厳重に保管致します。<br>本研究への参加をご希望されない場合には担当者までご連絡をお願い致します。  |
| 問い合わせ等の連絡先<br>筑波メディカルセンター病院 消化器外科<br>宮本良一（代表番号 029-851-3511）   |